

## 研修カリキュラム

研修分野	乳児保育	ねらい	乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
乳児保育の意義 乳児の世界	これまでに解明されてきた乳児の多様な力と、0～2歳の子どもの具体的な姿を重ね、乳児の世界の捉え方を解説している。	126分	保育SoWラボ 井桁 容子	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の発達に応じた保育内容 乳児保育の基本	平成29年改訂(改定)の指針や要領に示されている重要なキーワード「資質・能力の3つの柱」や「養護と教育の一体的な展開」について、事例を用いて解説している。	88分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の発達に応じた保育内容 発達をふまえた保育(0～2歳)	子どもの発達を、子どもが、環境を通して何を体験し、何を考え、どんな力を蓄えているのかといった多様な視点で捉えるヒントを、事例を基に解説している。	72分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の環境 子どもの「やりたい！」が発揮される環境(0～2歳)	保育の環境を考える時、子どもの姿を丁寧に観てみると、そこにはヒントがあふれている。どのような視点で子どもを観るのか、遊びだけでなく、睡眠や食事等の生活も含めて、多様な事例から学ぶ。	126分	お茶の水女子大学 宮里 暁美	講義+演習 (eラーニング)
乳児への適切な関わり 乳児への適切な関わり	乳児保育における生活習慣と保育者の関わりを考える。又、保育者は子どもの感情表現をどのように捉え、関わればよいのかについて解説している。	109分	保育SoWラボ 井桁 容子	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の指導計画、記録及び評価 子どもの姿に基づいた指導計画(0～2歳)	計画や記録を単に形式的なものにせず、組織として方向性を共有し、子どもの成長に役立つ充実した保育を行うためのツールとして活用するための方法を、実践的に学ぶ。	120分	東京家政学院大学 和田 美香	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の発達に応じた保育内容 0～2歳児を中心とした異年齢での保育	小規模な園に限らず、1～2才合同で保育することの意味を考え、保育活動や安全確保の考え方について、実践の写真を基に学ぶ。	110分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義+演習 (eラーニング)
乳児保育の指導計画、記録及び評価 写真を使った記録	保育の記録として写真を撮る場合、どのように保育に活用するかが重要である。写真から感じられる子どもの姿や育ちを職員間で共有し、保育を語り合うために実践的な視点で学ぶ。	118分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義+演習 (eラーニング)
乳児への適切な関わり 保育に活かす絵本とおはなしの世界	絵本とおはなしの特長や基本的な理解について解説している。語りのもつ力や魅力について具体的な実践を通して学ぶ。	52分	絵本作家・絵本コーディネーター こが ようこ	講義+演習 (eラーニング)

## 研修カリキュラム

研修分野	幼児教育	ねらい	幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
幼児教育の意義 幼児教育の意義	要領・指針には、世界の研究や知見をふまえ、目の前の子どもたちの「姿」をどのように捉え育てていくべきか、重要なメッセージが込められているということを解説している。	85分	白梅学園大学 無藤 隆	講義（eラーニング）
幼児の発達に応じた保育内容 幼児教育の基本	平成29年改訂（改定）の指針や要領に示されている重要なキーワード「主体的・対話的で深い学び」や「環境を通して行う保育」について、事例を用いて解説している。	54分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）
幼児の発達に応じた保育内容 発達をふまえた保育(3～5歳)	発達をそのプロセスと捉え、保育者は5領域を通して、子どもの学びを読み取ることが大切である。事例を通して5領域を、さらに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を日常的な散歩の子どもの姿を基に解説している。	64分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）
幼児の発達に応じた保育内容 幼児の世界(豊かな遊びの展開)	保育者は子どもの豊かな想像力や思いに共感し、受け止めながら保育を行っているか。改めて保育者のあり方を振り返る内容である。	164分	こども教育宝仙大学 利根川 彰博	講義＋演習（eラーニング）
幼児教育の環境 子どもの「やりたい！」が発揮される環境(3～5歳)	子どもが自ら発見し、工夫し、挑戦し、試行錯誤するその姿は目を見張るものがある。事例を踏まえ、指針や要領のキーワードと重ねて、環境が子どもの遊びを豊かにするために重要であることを解説している。	144分	お茶の水女子大学 宮里 暁美	講義＋演習（eラーニング）
幼児教育の指導計画、記録及び評価 子どもの姿に基づいた指導計画(3～5歳)	指導計画は子どもの「今」を捉えた記録を基に、より良い保育に向かうPDCAサイクルの中で書いていくものである。幼児教育の知識と保育の実践を結び付け、計画に活かすための手掛かりを示している。	154分	神戸大学大学院 北野 幸子	講義＋演習（eラーニング）
幼児教育の指導計画、記録及び評価 計画・実践・振り返りの実際	子どもの姿から何を捉え、どのように記録するのか。また記録を基にどのような保育を展開していくと、子どもが主体的に育っていくのか。事例を基に、実践的に学ぶ。	118分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義＋演習（eラーニング）
小学校との接続 架け橋プログラム1	架け橋プログラムについてこれまでの幼保小の取り組みとの違いに触れながら解説している。架け橋プログラムの背景となる現状や課題、そしてプログラムの概要について丁寧に解説され、これから取り組むべき内容や取り組む際の考え方などを学ぶ。	43分	白梅学園大学 無藤 隆	講義（eラーニング）
小学校との接続 架け橋プログラム2	これまで幼保小接続はどのように進められてきたか、これからの幼保小の架け橋プログラム展望について、基本方針を踏まえて解説している。自施設で実践していく際、具体的な取り組みイメージを持てる内容である。－2024年シンポジウムから抜粋－	85分	國學院大學 吉永 安里 社会福祉法人たちばな福祉会 坂本 喜一郎 白梅学園大学 無藤 隆	講義（eラーニング）

## 研修カリキュラム

研修分野	障害児保育	ねらい	障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
障害の理解 障害とその支援に関する理解	障害とはなにか。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、特別支援教育について、解説している。自園の子どもたちを、共生社会の担い手として育てるために、保育者は何をなすべきか、ワークを通して具体的に考える。	124分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義+演習 (eラーニング)
障がいの理解 / 障害児保育の環境 気になる子どもの視点から保育を見直す	気になる子どもの存在は、保育のあり方を見直す大きなきっかけになるのではないか。具体的な事例を通して、様々なニーズのある子どもへの理解を深めると共に、全ての子どもに対する保育の在り方を見直し、考える。	189分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義+演習 (eラーニング)
障害児の発達の援助 障害児の発達の援助	特別な支援を必要とする子どもの保育や、保護者との接し方等について、保育者であった講師の体験をもとに解説している。	168分	八戸学院大学短期大学部 差波 直樹	講義+演習 (eラーニング)
障害児保育の指導計画、記録及び評価 障害児保育の指導計画、記録及び評価	全ての子どもが共に育ちあっていくためには長期・短期の計画に基づき、見通しをもったクラス運営が大切である。そのための指導計画の立案から実践、評価までの流れや留意するポイント等を学ぶ。	148分	仙台白百合女子大学 三浦 主博	講義+演習 (eラーニング)
家庭及び関係機関との連携 気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働	保育者は、施設での子どもの姿を話したい。保護者は自分のおもいを話したい。故に、両者の間で、ずれが生じることも多い。保護者の手記や事例を通して、「気になる子どもの保護者のおもいや歴史」を踏まえた保護者支援や、協働について考える。	154分	国立特別支援教育総合研究所 久保山 茂樹	講義+演習 (eラーニング)
家庭及び関係機関との連携 関係機関との連携	様々な課題を抱える子どもたちが共に育ち合っていくためには、保育者のインクルーシブなマインドと保護者・専門機関との連携が重要であることを学ぶ。またワークを通し、自園の課題を明確にし、その解決の手立てを考えていく。	59分	玉川大学・玉川大学大学院 若月 芳浩	講義+演習 (eラーニング)
障害の理解 医療的ケアが必要な子どもの保育	医療的ケア児の現状を踏まえて、医療的ケア児の支援のためのガイドラインについて解説している。医療的ケア児を含むインクルーシブな保育について考える	24分	香川大学 松井 剛太	講義+演習 (eラーニング)
障害の理解 インクルーシブな保育	インクルーシブ保育を実現していくために必要な視点や方向性について具体的な幼稚園の実践を交えて説明している。保育における合理的な配慮や、日常の保育と行事の関係性等を学び、インクルーシブな保育は子どもの主体の保育に通じることを理解する	53分	玉川大学・玉川大学大学院 若月 芳浩	講義 (eラーニング)

## 研修カリキュラム

研修分野	食育・アレルギー対応	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う。</li> <li>・アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う。</li> <li>・他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</li> </ul>
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
栄養に関する基礎知識 栄養に関する基礎知識	栄養の基礎的概念、食事摂取基準等を解説している。身体発達曲線から発育状態を把握する、調理保育の際の衛生管理を知る等、様々なワークを通して基礎知識を学ぶ。	139分	東洋大学 太田 百合子	講義+演習 (eラーニング)
食育計画の作成と活用 食育の理解と計画等	保育施設の特徴を活かした食育の基本を知り、環境の整備、多職種との連携等について学ぶ。	155分	東洋大学 太田 百合子	講義+演習 (eラーニング)
食育計画の作成と活用 授乳・離乳食・幼児食の進め方と保護者支援	授乳・離乳の支援ガイドを基に、支援のポイントや発達に即した進め方を学ぶ。また、保護者が自信をもてる支援の大切さとそのヒントを学ぶ。	130分	東洋大学 太田 百合子	講義+演習 (eラーニング)
保育所における食事の提供ガイドライン 保育所における食事の提供ガイドライン	ガイドラインが作成された背景と内容を理解し、「食の提供における質の向上のためのチェックリスト」を使って自園の状況を振り返り、改善点について考える。	51分	東洋大学 太田 百合子	講義+演習 (eラーニング)
アレルギー疾患の理解 アレルギー疾患の理解	食物アレルギーへの理解を深め、アレルギーを持つ子どもが、他の子どもと同じように安心して楽しく過ごす為に必要なことを解説している。	160分	小児アレルギーエドゥケーター 長谷川 実穂	講義+演習 (eラーニング)
保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン	ガイドラインを知ることで、マニュアルの根拠を理解することの大切さを解説している。又、緊急対応（アドレナリン自己注射）についても動画で説明している。	151分	小児アレルギーエドゥケーター 長谷川 実穂	講義+演習 (eラーニング)
食育計画の作成と活用 食育計画の作成と活用	食に関わる体験として栽培活動や調理体験を例にあげ、目的や配慮、計画のポイントをお伝えている。ワークでは実際に食育計画を立てる等すぐに活かせる内容となっている。	127分	東洋大学 太田 百合子	講義+演習 (eラーニング)

## 研修カリキュラム

研修分野	保健衛生・安全対策	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。</li> <li>・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。</li> <li>・他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</li> </ul>
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
保健計画の作成と活用	子どもの発育・発達の基本的な理解を踏まえ、保健計画の作成と活用について学ぶ。保健計画を継続的に見直し、改善していくための基礎的な知識を習得する。	163分	玉川大学 鈴木 美枝子	講義＋演習（eラーニング）
保健計画の作成と活用	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応を踏まえ、組織的かつ実践的に活用していくための理解を深める。			
保育所における感染症対策ガイドライン	保育所における感染症対策の基本、感染症の種類や出席停止期間の考え方について学ぶ。	297分	玉川大学 鈴木 美枝子	講義＋演習（eラーニング）
保育所における感染症対策ガイドライン	具体的な感染症ごとの対応について学び、保育所における感染拡大防止と子どもの健康支援の実践方法を学ぶ。			
保育の場において血液を介して感染する病気を予防するためのガイドライン	血液を介して感染する病気の特徴や感染経路について学び、保育所で留意すべき点について理解する。	68分	玉川大学 鈴木 美枝子	講義＋演習（eラーニング）
保育の場において血液を介して感染する病気を予防するためのガイドライン	具体的な対応として、想定される場面に即した適切な対応方法について学び、感染予防と安全な保育環境について学ぶ。			
事故防止及び健康安全管理	職員の法的責任、保護者対応、事故報告および再発防止策を理解し、整理する。	120分	洗足こども短期大学 堀 純子	講義＋演習（eラーニング）
保育施設における危機管理とは	同様の事故が繰り返される背景を踏まえ、継続的に危機管理意識を高めていくことの重要性について理解する。			
教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	ガイドラインを基に 睡眠中、食事中、プール・水遊びの事故防止について学ぶ。自園で重大事故を起こさない為に大切にすべきことは何か…ワークや設問を通して深く考えさせられる構成となっている。	120分	東洋大学 内山 有子	講義＋演習（eラーニング）
新制度の中の危機管理				
事故防止及び健康安全管理	災害時に起こりやすい心理状態や正常性バイアスについて理解し、適切な行動につなげるための考え方を学ぶ。新旧耐震基準の違い、被災状況の比較を通して、施設の安全確保の必要性を理解する。あわせて、環境づくりの重要性について学び、災害時の具体的な対策を学ぶ。	63分	学校法人国際代々木学園 日本デザイン福祉専門学校 宮野 由紀子	講義＋演習（eラーニング）
保育施設における災害対策とは				
教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	送迎バスで子どもを取り残さないために必要な安全確認の考え方について学び、自分事として捉える姿勢を養う。日常の保育や送迎場面に潜むリスクやヒヤリ・ハットを振り返り、組織的な事故防止と安全管理について理解を深める。	50分	学校法人国際代々木学園 日本デザイン福祉専門学校 宮野 由紀子	講義＋演習（eラーニング）
子どものバス送迎とその安全対策等				
事故防止及び健康安全管理	国から保育施設に求められている「安全計画」について理解し、安全計画を立案し活用するためのポイントを学ぶ。	30分	洗足こども短期大学 堀 純子	講義＋演習（eラーニング）
安全計画	また、実施にあたっての留意点やブラッシュアップについて学ぶ。			

## 研修カリキュラム

研修分野	保護者支援・子育て支援	ねらい	保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
保護者支援子育て支援の意義 保育の専門性を生かした子育て支援	現代の子育てをめぐる課題を踏まえて、子育て支援の重要な役割について解説している。子育て支援はなぜ必要か、何のために行うのか、基本となる考えを学ぶ。	121分	日本社会事業大学 亀崎 美沙子	講義+演習 (eラーニング)
保護者に対する相談援助 保護者との関わりで大切にすべきこと	保育所保育指針を踏まえて、保護者との関わりについて大切にしたいことを解説している。ワークでは自園の状況を振り返ることができる。	143分	大阪総合保育大学 大方 美香	講義+演習 (eラーニング)
保護者に対する相談援助 保護者に対する子育て支援の実際	子育て支援は日々の保育そのものであることを踏まえ、保育の場でできることや、工夫できるヒントがあることを伝えている。また、保護者の相談についての具体的な手法を学ぶ。	124分	八王子保育専門学院 田尻 さやか	講義+演習 (eラーニング)
保護者に対する相談援助 保護者とのコミュニケーションのポイント	「保護者とどのように話すか」、「どう伝えるか」と、多くの保育者が悩んでいる。事例からコミュニケーションのポイントを学び、ワークを通して、保護者の心持ちを多様な視点で捉えられるよう学ぶ。	72分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義+演習 (eラーニング)
地域における子育て支援 地域における子育て支援の実際	保育所等は、地域の子育て支援の拠点としての役割を担っている。たくさんのワークを通して、自分たちの園の周辺の状況や、子育て中の家族の思い等を知り、「自分たちにできること」を考える。	103分	特定非営利活動法人せたがや子育てネット 松田 妙子	講義+演習 (eラーニング)
虐待予防 児童虐待	子どもや保護者と顔を合わせる機会が多い保育施設では、子どもの虐待の早期発見や早期支援が期待されている。発見・通告・対応の体制を理解し、保育施設の特徴を生かした保護者支援を行っていくことの大切さを学ぶ。	129分	淑徳大学 佐藤 まゆみ	講義+演習 (eラーニング)
関係機関との連携・地域資源の活用 関係機関との連携・地域資源の活用	様々な親子の実態がある中で、園が親子と社会をつなぐ役割を担っていくことが大切である。子どもの貧困をめぐる問題等において、様々な地域資源とつながって、包括的にサポートしていくためにどのようなことができるのかを考える。	188分	和洋女子大学 矢萩 恭子	講義+演習 (eラーニング)
保護者に対する相談援助 保護者支援・子育て支援基本編	保育の中で包括的に行っていく保護者支援について学び、日々の関わりや取り組みとのつながりを考える。	65分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義 (eラーニング)

## 研修カリキュラム

研修分野	マネジメント	ねらい	主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント・リーダーシップの能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
マネジメントの理解 / 組織目標の設定 保育施設における組織マネジメントとは	保育施設におけるマネジメントとはどういうことかを知り、組織のマネジメントサイクルの重要性を学ぶ。自園を俯瞰的に見る視点と保育環境、職員環境をより良くするためのヒントについて解説している。	82分	株式会社保育のデザイン研究所 矢藤 誠慈郎	講義 + 演習 (eラーニング)
マネジメントの理解 保育施設のための法律ガイド	保育施設での事故や疾病、保護者からのクレームやトラブル、施設での不祥事（現金紛失や情報流出）等の様々な困りごとを弁護士の視点で、事例や判例をもとに解説している。	57分	木元有香法律事務所 木元 有香	講義 (eラーニング)
マネジメントの理解 保育施設における子ども的人権	子ども的人権と不適切なかかわりに焦点をあてて、講師の解説とワークを通して自分事として学ぶ。 不適切なかかわりが起こる背景、理由にも目を向けてその発生を抑えるための方策や発生したときの対応等についても学ぶ。	130分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義 + 演習 (eラーニング)
マネジメントの理解 保育施設における個人情報保護	個人情報やプライバシー保護の大切さを、保育施設の事例から、解説している。	42分	株式会社保育のデザイン研究所 高城 恵子	講義 + 演習 (eラーニング)
リーダーシップ 保育施設におけるリーダーシップとは	リーダーという言葉から、どんなイメージを思い浮かべるか。園やクラス等をまとめる立場として、周りの人とうまく接するか、どうリーダーシップをとれば良いか学び、ワークを通じて振り返る。	121分	兵庫教育大学大学院 鈴木 正敏	講義 + 演習 (eラーニング)
人材育成 園内研修の進め方	施設内での園内研修について、テーマや進め方の他、話しやすく意見やアイデアを言い合える雰囲気作りについて学ぶ。充実した研修にする為の仕掛けや仕組み等、具体的なヒントを解説している。	157分	大阪総合保育大学 瀧川 光治	講義 + 演習 (eラーニング)
人材育成 実習指導と人材育成	日々の保育の中での指導や記録へのコメント記入等の際、大切なのは「対話」である。様々な事例やワークを通して、実習計画の立て方から実習生の理解・実習指導の基本となる考え方等を具体的に学ぶ。	114分	東京家政大学 小櫃 智子	講義 + 演習 (eラーニング)
働きやすい環境づくり 部下とのコミュニケーションの基本	部下とのコミュニケーションについての悩みやストレス等、保育施設で起こりそうな事例を基に学ぶ。ワークでは自分の心持ちを知り、分析して整理する方法を知る。	109分	セルフケア・ラーニング 中里 弘樹	講義 + 演習 (eラーニング)
働きやすい環境づくり 職員のメンタルヘルス対策	ワークを通して自分のストレス対処法を知り、ストレス耐性を高める為の方策等を具体的に学ぶ。	60分	セルフケア・ラーニング 中里 弘樹	講義 + 演習 (eラーニング)
働きやすい環境づくり 働きやすい職場環境づくり	保育現場で必要な労務の知識（働き方改革の内容を含む）を身に付け、現場に活かすことが大切である。ハラスメントについての知識や、事業主が講ずべき措置について解説している。	66分	木元有香法律事務所 木元 有香	講義 (eラーニング)

## 研修カリキュラム

研修分野	保育実践	ねらい	子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身に付ける。
総研修時間	15時間以上		
定員	500名		

国のガイドライン 研修区分	具体的な内容	研修時間	講師	研修形態
保育における環境構成 / 子どもとの関わり方 豊かな遊びと安全	子どもの安全を守ることは、最も重要であるが、危険を取り除こうとするあまり、遊びが制限されがちな面もある。安全に配慮しながら、豊かな遊びをめざすために、どのように環境を捉え、考えたらよいかを事例を通して解説している。	119分	株式会社保育のデザイン研究所 川辺 尚子	講義 + 演習 (eラーニング)
身体を使った遊び 運動遊び	子どもの自由な動きが、乳幼児に必要な運動につながっていることを理論的に伝え、運動遊びの指導を事例をあげて説明している。	124分	東京学芸大学 吉田 伊津美	講義 + 演習 (eラーニング)
身体を使った遊び わらべうた	わらべ歌の意義や魅力を伝え、保育者自身が楽しみながら子どもたちと関わることをめざして、数多くのわらべ歌を紹介している。	79分	わらべうた実践家 久津摩 英子	講義 (eラーニング)
言葉・音楽を使った遊び 感性を育む音楽表現	子どもたちがどのように音や音楽に出会い、感じ、表現しているのかを、事例をあげて解説している。子どもたちの感性を育む音楽指導のあり方を考える。	127分	桜美林大学 吉永 早苗	講義 + 演習 (eラーニング)
言葉・音楽を使った遊び 保育施設で子どもと絵本を楽しむ	絵本の種類や構造、その魅力を伝え、保育の中で絵本と出会う意味や環境のあり方を解説している。	165分	東京家政大学 野口 隆子	講義 + 演習 (eラーニング)
物を使った遊び 子どもの表現(主に造形)の理解と援助	領域「表現」の意味を伝え、造形表現の事例を基に、ワークを通じて受講者自身が「感じること」「表現すること」の楽しさや大切さを伝えている。	186分	白梅学園短期大学 花原 幹夫	講義 + 演習 (eラーニング)
物を使った遊び 身近な自然とかかわる保育	自然とのかかわりによる子どもにとっての学びは何か、要領（指針）の言葉と重ね合わせながら具体的に、多角的に解説している。事例を通じて、保育者の援助のあり方を考える。	116分	岐阜聖徳学園大学 松本 信吾	講義 + 演習 (eラーニング)